

# 2004/2005 度 L-ラーニング学習支援システム研究分科会 (第4回) 記録

平成 17 年 3 月 16 日

東京歯科大学図書館 阿部潤也 記録

日 時 : 平成 17 年 3 月 11 日 (金) 14 : 30~19 : 00

場 所 : 日本女子大学 (目白キャンパス) 図書館 多目的室

出席者 : 阿部潤也 (東京歯科大学)、池田剛透 (多摩大学)、小田切夕子 (麻布大学)、  
高野真理子 (日本女子大学)

配布物 : 第 4 回 L-ラーニング学習支援システム研究分科会タイムテーブル

レファレンス協同データベース実験事業参加館フォーラム L-ラーニングレジュメ

## 1. 平成 16 年度分科会活動の総括

- 1) 参加メンバーが L-ラーニングを理解し問題作成を行った。
- 2) 問題作成プロセスの見直しと問題作成ルールを作成した。
- 3) 参加メンバーで問題作成を行い、模擬試験ページに 49 問の問題を掲載した。
- 4) 模擬試験を行った利用者からの意見などから、一定の評価を受けていることを確認した。
- 5) 次期フェーズとして L-ラー的体系学習のためのウェブページを構築する。

## 2. 討議内容

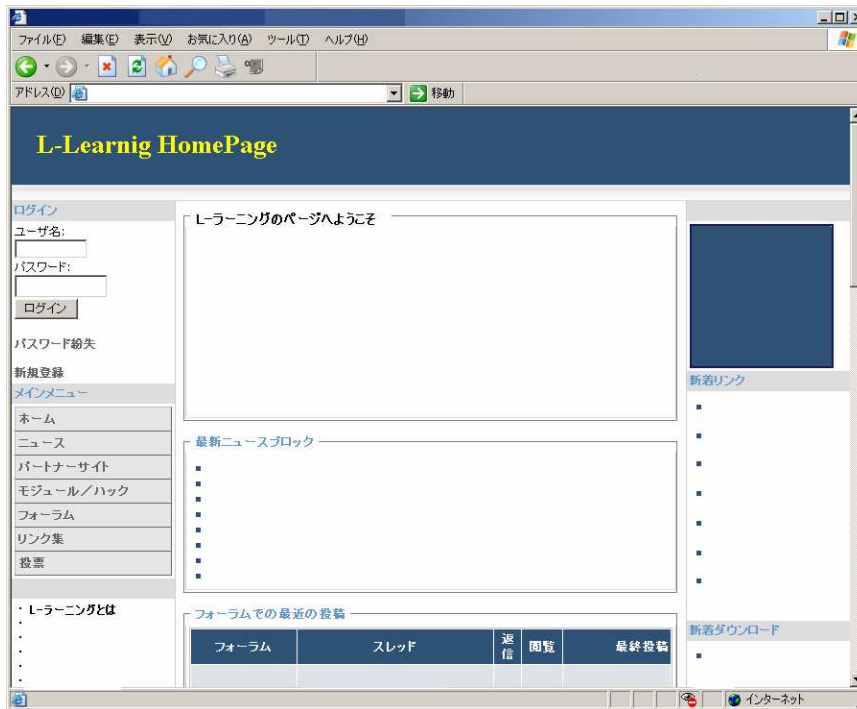
- 1) 平成 17 年度の活動計画について
  - a) 模擬試験ページの今後の計画
    - ・ 大学図書館員のポータルサイト化への調査、検討
      - フォーラム&ニュース
      - コミュニティサイト
    - ・ CMS= Contents Management System (XOOPS 等) を利用してのサイト構築
      - 参考ページ : XOOPS <http://jpxoops.org/>
      - 出題で使用している TakaQ の代替になるかの調査、検討
    - ・ 対象ユーザについて
      - 大学図書館員とすることを確認
  - 2) 学習体系ページ作成について
    - a) 作成に底本は決めないが引用はもちろん可
      - 引用する際は引用をきちんと記述すること
    - b) 学習体系分担用の掲示板を作成する
      - 池田氏担当 <http://ml.lss.tama.ac.jp/c-board/c-board.cgi?id=002>
    - c) 学習体系のモデルは、掲示板を使って各自が提示する
      - 12 月に作成した L-ラー的体系学習の項目を各自の担当が作成する。

3) 問題作成はひとまず終息とし、時間があれば問題作成を行う。

### 3. 平成 17 年度の活動立案

平成 17 年度分科会の活動について以下を討議した。

- 1) 「L-ラー」の戦略と次期フェーズについて。
- 2) 図書館の各分野の体系化（実地的・実践的な知識）
- 3) ポータルサイトの作成（概念図）



- 体系的な学習項目
- 各項目の小テスト
- 模擬試験
- フォーラム
- リンク集
- ML
- ニュース

... etc

### 4 確認事項

- 1) 平成 17 年度 11 月例会は研究報告大会の発表準備と次期分科会に向けての計画策定。
- 2) 次回の分科会開催 2005 年 5 月 麻布大学 or 日本女子大学

以上